

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2003年12月20日

40号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

第2回総会終る



活動を会員みんなで確認しつつ

12月の声とともに 冬の厳しさが訪れました。みなさんお元気ですか？

道路は朝早くから一日中いそがしく混んでいて、遠くに凜として白くそびえている富士山も朝からスモッグにかすんでいます。12月は後半を年末にとられるせいか、どこも大忙しです。

* * *

先日は、総会がありお忙しい中会員の皆さんにお集まりいただき、グループホームの進み具合をご報告したり、ご相談したりすることができました。(内容は別記)

このような事業になると、小さな会議も多く、また急に交渉に出かけたり、関係業者との打合せがあったりと結構忙しいわりには、チャリティーコンサートなどの実行委員会のように皆さんそろっての会議を持つ機会がなかなかありません。スタッフ間では定例の会議がありますが、会員みんなで取り組んでいるという感覚が薄れるのではないかと 少し不安になります。

このごろはどこでも会議が多く、その功罪がよく話題になりますが、組織が組織として生きいき活動するということは、当然のことですが会員の皆さんが当事者として活動を共有できなければなりません。「今自分がどのように参加しているのか」ということを確認していただけるようにしなくてはいけないのだとおもっております。

会員の皆さんはほんとにお忙しい方が多くお集まりいただくのも恐縮なのですが.....

できるだけ「たわわ」でも、お知らせしたいと思います。広報担当の会員も皆さんの紙上での参加をおまちしています。ご意見や近況などをお寄せいただければさいわいです。

* * *

第二館目のグループホームは、いよいよ基礎工事に入りました。個人に合わせた福祉機器の種類も何度も検討と交渉を重ねしぼられつつあります。当初もっと単純に個人のニーズで住環境整備の制度を入れられると思っていたのですが、今年あたりからはグループホームの持つ"共用部分の多い家"という性格上、簡単に決めかねるといことが多く、私たちも、役所の方でも少しこまったところでした。

グループホームについて



鶴見養護学校 石瀬 有治

進路というと「学校を卒業したら、次はどこに通うのか」と昼間通う場所が問題になります。元気に通える場所があることがまず大切だからです。昔、作業所の数がずっと少なかった時には、作業所の数がもっと増えて家から通える場所に自分にあった作業所ができることがみんなの願いでした。そして親が死んでしまったり、病気になったりした時には「施設に入るしかない!」というのが普通だったと思います。その漠然とした不安を抱えながら、「自分が生きているうちは、がんばるしかない!」と親はがんばり続けてきたのです。

グループホームができて、「親が生きているうちに、子どもが安心して暮らせる生活を組み立てる時代になってきた」と思います。これからは親も少し力を抜いて生きていい、子どもと一緒に長生きしていい世の中になったのだと思います。本人から見ると親にしか頼ってはいけない世の中から、社会の一員としてみんなの支援を受けながら生きることがだんだんと認められるようになってきたのだと思います。

重度障害者の生活写真展

重度重複障害者の生き生きとした表情、笑顔の中に
地域で暮らす喜びの声をお聞き取り下さい。

・・・少しでも多くの人に、日常生活の様子や、
グループホームの事などを知っていただくために・・・

日時：平成16年1月19日（月）から24日（土）

午前10時30分～午後6時30分 （初日は午後1時より、最終日5時まで）

会場：大倉山駅前通り アートかれん「ギャラリー かれん」

東横線「大倉山」駅下車2分 （東京三菱銀行の前）

主催：地域で生きる障害者を支える会

共催：障害者グループホーム「よつばホーム」



「めがねの声」は紙面の都合上お休みします。

やがて春！

鈴木 玲子

カラカラと落ち葉が追いかけてくる街に黄色の商店街の旗が、翻っています。(やがて春)とかかれて・・・とても不安なこの頃です。

「初めの一步」と言っていたグループホームも、二館目の建設、本当におめでとうございませう。こんな話は明るく、嬉しくなりますね。私とよつぼとの細い糸も、断ち切れる事なく続いているようです。それは皆の笑顔に励まされ、一生懸命さに元気を貰い、素直さに心惹かれているのが、長続きの原因かもしれません。

今は書(習字)の手伝いをしています。とっても楽しく(いつも春)なのです。墨の香漂う、凜と張りつめた空気がするはずなのですが、笑いあり、大声ありと、賑やかなのです。個性派が揃い、紙一杯に力強く書く人、優しい言葉を書く人、柔らかな書体に挑む人、掛け声で作品に仕上げる人、お気に入りの字だけを書く人、其々の個性が素晴らしい作品に仕上がっていく過程に居合わせる事に、快感を得ています。この仲間たちとは、やがて春で無く(いつも春)の心で居続けたいと思っています。

**

**

平成15年度第2回総会報告

日時：平成15年12月3日(水) 10:30～

1. 2館目グループホームについて

- 1) 設立計画および入居者(4名 たわわで紹介済み)設計について(設計図で説明)
- 2) 福祉機器の設置について
 - ・福祉機器の検討(浴室リフターなど)
 - ・リハセンターと連携。入居者の状態に合わせた機器、その他の付帯設備について説明
 - ・役所との交渉経過を説明
- 3) 地鎮祭及び建築の着工について報告 11月22日(土)
- 4) 入居予定者の検診(Dr. 斉藤和代運営委員)
 - ・状況の把握をし体験入居を行う。親からも個々の様子やケアの方法を伝える
 - ・支援計画の立案に生かしていく
- 5) 職員について
 - 2館目のスタッフの配属を決める(非常勤職員1名募集中)
- 6) 体験入居について
 - 9月末現在延べ50泊(人)当初計画の倍増となる見込み
- 7) 二館目グループホームの名称 第2よつぼホームと内定(運営委員会にて決定する)
- 8) 経費の補正について
 - 体験入居助成金、職員養成費が増える見込み

2. 今後の活動

1) 障害者の生活を伝える写真展の開催

1月 大倉山「ギャラリーかれん」 3月 県民サポートセンター (予定)

2) 情報の発信 支える会 通信「たわわ」の発行

3) 学習会の実施

4) 新吉田地域交流バザー ガレージセール

期日 16年3月27日(土) 場所 よつばホームの庭
地域交流と「第2よつばホーム」の紹介

5) オープニングセレモニーの準備 地域の方たちへの説明会



3. その他 会員の募集 現在の会員 27名(顧問7名) 賛助会員 107名、2団体

ご寄付 「花陽の会」様 11月29日チャリティー公演により 195,000円のご寄付をいただきました。有難うございました。

担当 高島 慶子

今月のよつばホーム

師走とはよく言ったもので、本当に12月は忙しい月ですね。

今月よつばホームに関係する出来事、行事では(予定も含め)、

- ・入居者のインフルエンザ予防接種
- ・花陽の会チャリティーコンサート
- ・マリオネットコンサート(ポルトガルギターとマンドリンのユニット)
- ・障害者の日の集会(関内)
- ・グループホームを考える横浜の集い(桜木町)
- ・よつばホームクリスマス(ディナー&ケーキ&乾杯)
- ・年末のショッピング&外食(ランチ) ・大掃除 などがあります。

大体のものは、楽しい事なのでいいんですけどね。

そして、あっという間に正月が来て… 2004年。

よつばホームの時間はマイペースなのですが、それでも1年が過ぎるのは早いです。

〈2003年を振り返ると〉

入居者の方には申し訳なかったですが、職員の入れ替わりが激しかった年ですね。2館目の準備もあり仕方はないのですが…

ただ、大きな病気やケガもなくいい年だったのではないのでしょうか。

〈2004年は〉

どんな年になるのでしょうか? 楽しい事が多いといいですね。

そして、色んな方が遊びに来てくれると嬉しいです。